



We Serve

334-C 3R 4Z FUJINOMIYA LIONS CLUB

ウィ・サーブ

2026

6

No.744

L赤池 弘源誕生!

5月第一例会 入会式実施 於 フォレスト・ヒルズ



▲ `ライオンズの誓い、を宣誓するL赤池(中)



▲L赤池の紹介をするL佐野(寿)

MC・L情報・IT委員長 L山岸正和

5月7日、第一例会において赤池弘源氏の入会式が執り行われました。

ラベルピンと制帽が鈴木弘会長から贈られ、着し、赤池弘源ライオンが誕生しました。

赤池ライオンは現在62歳、富士宮市議会議員として活躍中です。L鈴木弘、L佐野寿夫とともに、富士宮LCは3人の現職市議会議員を擁することになりました。富士宮市と富士宮ライオンズクラブの発展の為、益々のご活躍を期待するところです。

氏は3年前に市議となる以前は造園業を営まれ、現在は事業をご子息に譲られ、ご自身は造園技術の

後輩たちへの伝承に努めておられます。

また、お父上はかつて当クラブのメンバーでした。親子二代のライオンとなります。例会後の懇親会では、L篠原を始めお父上を知るメンバーが当時の思い出話を懐かしく語られ、L赤池の入会を皆で祝いました。

例会では、富士宮市役所環境部から市川和彦環境未来課ゼロカーボン推進係係長と本沢創太氏を迎え、市の環境政策を語っていただきました。スピーチ要約を別掲いたします。

「南条の里キッズファーム」さつま芋植え付け事業

青少年委員 L伊藤 博



▲秋の収穫祭が楽しみ!「大きくな〜れ!」

ライオンズクラブ奉仕活動の一環として、地域の幼稚園児60名と共に畑で「さつまいもの苗付け体験」を実施しました。子どもたちは土に触れながら苗を丁寧に植え、自然や食の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。会員も安全管理や作業補助を行い、地域の未来を担う子どもたちとの交流を深める有意義な事業となりました。秋には収穫祭も予定しており、収穫の喜びを分かち合いながら、地域に根ざした奉仕活動を継続して参ります。

334-C地区スローガン

会長スローガン

We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう

楽しく奉仕 創ろう明るい未来!

本年度の青少年委員会活動について

青少年委員会委員長 L井藁裕一

本年度、青少年委員会では「小学生プログラミング教室」及び「小中学生夏休み自由研究作品展奨励」の2つの事業が評価され「新たな奉仕挑戦賞」を頂くことが出来ました。受賞の基準は不明ですが新しい取り組みに対して評価を頂いたと思っています。

青少年委員会では「富士宮市・近江八幡市児童交歓会」から始まり「小学生プログラミング教室」「小中学生夏休み自由研究作品展奨励」「小中学生ビブリオバトル富士宮大会」「南条の里キッズファーム」の5つの事業を行いました。先述した2つの事業は新規の事業となり0を1にすることの大変さがありましたが子供たちの喜ぶ笑顔によって苦勞も報われたと感じています。

「小中学生ビブリオバトル富士宮大会」では、参

加校が過去最高数となり継続して取り組んできたことが結果として表れてきたと感じます。また、内容も年々ブラッシュアップされており来年の開催も楽しみにしています。

「南条の里キッズファーム」では南条の里保存の会の皆様とリーチェル幼稚園の先生をはじめ園児の皆様のおかげで賑やかにじゃがいもとさつまいもを収穫することが出来ました。社会福祉協議会に収穫物を届けることもでき改めてやりがいのある事業だと感じています。

色々大変な1年でしたが、継続事業の多いライオンズクラブでは、新しい事に挑戦出来る機会は多くなく、このような機会を頂いたことに心から感謝申し上げます。また、この機会を通じて子ども達が増える成長と挑戦を続けることを心から願っています。最後に、ご協力いただきました皆様に感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

第1例会 5月7日(木)

富士宮市環境未来課ゼロカーボン推進のお二人を迎えて

「富士宮市のゼロカーボン戦略と事業者向け補助金について」

(ご登壇者：富士宮市 環境部 環境未来課 ゼロカーボン推進係 市川 和彦係長・本沢 創太様)

5月の第一例会にて、富士宮市役所の市川様と本沢様をお招きし、市のゼロカーボンに向けた取り組みと、会員事業者も活用できる補助金制度についてご講演いただきました。

1.富士宮市のゼロカーボンシティ宣言

「ゼロカーボン」とは、二酸化炭素(CO₂)の排出を完全に無くすのではなく、出た分のCO₂を森林管理や最新技術で吸収・除去し、2050年までにプラスマイナスゼロにするという取り組みです。富士宮市は、富士山の豊かな恵みを次世代につなぐため、静岡県に先駆けて2021年に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

2022年の最新データでは、基準年(2013年)比で22.7%の削減を達成していますが、2050年の実質ゼロに向けた道のりはまだ半ばです。特に市内の

CO₂排出量は産業部門が最も大きな割合を占めており、脱炭素社会の実現には「地元事業者の皆様との協働が必要不可欠」とのお話をいただきました。

2.事業者向け「ゼロカーボン推進設備等導入費補助金」

排出量削減に向け、市では電力消費の省エネ化や、太陽光・小水力などの再生可能エネルギー導入を強く推進しています。その一環として、令和6年度より従来の補助金を拡充し、「ゼロカーボン推進設備等導入費補助金」として運用を開始しました。補助の対象となるのは以下の5種類です。

- ・太陽光発電設備
- ・定置用リチウムイオン蓄電システム
- ・V2H充放電設備
- ・クリーンエネルギー自動車
- ・省エネ設備(※令和6年度より追加)

追加された「省エネ設備」への補助金適用は、既存設備の更新(買い替え等)のみが対象となり、新築時の設置は対象外となる点に注意が必要です。

3.制度の見直しと今後の展開

市では、この補助金制度をより使いやすくするため、5月31日まで事業者からの意見を募集しています。また、市の豊富な森林資源を活かした「J-クレジット制度(適切な森林管理によるCO₂吸収量をクレジット化する制度)」の活用にも取り組んでいるとのことです。

質疑応答では、太陽光パネルの目安設置枚数や、次世代型であるペロブスカイト太陽電池の普及見通し(来年以降に量産体制に入る見込み)などについて活発な質疑が交わされました。

設備の更新などを検討されている事業者の皆様は、予算が確保されている今の機会に、ぜひ本補助金の活用をご検討ください。



▲市職員の本沢創太様の講話

第2例会 L塩川 地区役員報告

5月19日(木)

MC・L情報・IT委員長 L山岸正和

今月の第二例会は結成記念例会でした。幹事報告の後、L塩川進から「地区役員活動報告」がありました。L塩川は2025年5月の地区説明会を皮切りに計12回に及ぶ3R・LCIF・YCE委員としての活動をされてきました。

L塩川はYCE委員としての派遣学生の受入れなどの苦労話とともに、YCEによる若者の精神的な成長を促す「人間的な変容の場」を提供できた活動の価値を強調されました。

LCIFおよびMJF（1000ドル献金）において富士宮LCが地区内で圧倒的なプレゼンスを示していることが報告されました。特に、累計MJF口数で富士宮LCは地区内第2位（427口）、しかも1位の浜松LCに肉薄し3位には圧倒的な差をつけての実績であること、L西川におかれては毎年一回、計36回にわたりMJFへの献金を続けられ、地区内でのいわば“レジェンド”として知られていることが語られました。

＜本年度のMJF献金実績は計12口（地区第5位）。次の皆さまが献金されました＞

L藤原、L鈴木（弘）、L塩川、L芦澤、L西川、L井藁、L望月（達）、L鈴木（貴）、L竹川、L伊藤（博）、L山岸、L佐野（吉）

さらに特筆すべき事は富士宮LCの8.3%という女性比率の高さです。これは地区平均を大きく上回る先進性を示しており、多様性・公平性・包摂の観点からも、今後の会員増強において大きな戦略的優位性となることも示されました。



▲地区役員L塩川進

ゴルフ部だより

クラブコンペ開催 5月9日(土)

於 朝霧ジャンボリーG・C

5月9日(土) 晴天に恵まれた朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて14名の参加のもと開催。日頃の腕前を競いました。

成績は優勝L芦澤、準優勝L加藤、3位L鈴木（貴）でした。終了後、小川荘にて懇親会を開催、交友を深めました。



▲富士山をバックに参加した各メンバー



▲われわれもかくやりたい。元気な80歳台4人衆



▲最高齢で優勝のL芦澤を囲んで

第1487例会

5月第1例会

2026年5月7日(木) 於 フォレスト・ヒルズ

アテンダンス

申告ドネーション	32件	102,000円
記念日ドネーション	14件	28,000円
献眼ドネーション		
物品ドネーション		
欠席・遅刻・早退ファイン		
全 員 フ ァ イ ン	44件	8,000円
合 計		138,000円

会員数及び出席率

総会員数	正会員	家族会員	終身会員	優待会員
54	45	9	1	1
不在会員	公務欠席	届出欠席	無届欠席	出席率
3		1		97.5%

【メイクアップ後出席率 100%】



▲ローアをする計画委員会のメンバー



▲ゲストスピーカー環境未来課市川係長(左)と本沢様

第1488例会

5月第2例会

2026年5月19日(火) 於 フォレスト・ヒルズ

アテンダンス

結成記念例会

申告ドネーション	9件	33,000円
記念日ドネーション	1件	2,000円
献眼ドネーション		
物品ドネーション		
欠席・遅刻・早退ファイン	1件	500円
全 員 フ ァ イ ン	43件	9,000円
合 計		44,500円

会員数及び出席率

総会員数	正会員	家族会員	終身会員	優待会員
54	45	9	1	1
不在会員	公務欠席	届出欠席	無届欠席	出席率
3		2		95%

【メイクアップ後出席率 100%】



▲盲導犬募金富士ハーネスへ贈呈



▲2 回目例会見学の張義宏氏

編集後記

この6月号が本年度のMC・L情報・IT委員会が編集する最後のウィ・サーブとなりました。先ほど編集作業が終わり、ホッとしています。

本年度のMC委員長に指名されたのが昨年4月。何もわからない中でのスタートでした。前委員長L杉浦 輝にご指導いただき、また委員の、L小泉、L吉野、L望月(達)、L望月(史)の全面的な助力を得ながらこの一年のジョブをこなしてまいりました。

編集を通じてあらためて思うことは、当クラブの活動の多彩さです。本年、現在までに恐らく30回以上のクラブアクティビティが行

MC・L情報・IT委員長

L山岸正和

われ、その内27回についてウィ・サーブの記事やHPアプとすることが出来ました。そもそも論ですが「アクティビティがあってこそ」の記事化です。クラブメンバーはその多彩な活動を難なく(?) 成し遂げられる素晴らしい力量をお持ちです。また、それが過去からの伝統の蓄積なのでしょう。

あらためて、皆様のご協力に感謝申し上げます。

最後に、事務局 磯辺 裕恵様には多大なご助力を頂いた一年でした。心から御礼申し上げます。